

平成29年 第8回 議会定例会

平成29年3月3日

議会定例会の開会にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

本日、ここに平成29年第8回大刀洗町議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位には、公私ともにご多用中にもかかわらず、御出席を賜わり、厚く御礼を申し上げます。

内閣府によると、日本経済は、雇用等の改善が続く中で、アベノミクスの効果もあり、景気は緩やかに回復していくことが見込まれる、とのことではありますが、それを実感として感じられるのはまだ先のように思われます。今後の動向に注視してまいりたいと思います。

さて、今年度も残りわずかとなりました。平成28年度は、総合戦略「大刀洗よかまち創生プロジェクト」の本格稼働の年であり、予定していた13事業については、おおむね順調な滑り出しを見せております。定住促進対策として建設した「スカイラーク菊池」には27室全室に76名の入居があり、内47名が町外からの転入者となりました。また、子育て支援として、不妊治療助成の拡大や「産後ケア」の

助成、子ども医療費助成の対象を拡大しました。さらに、7月の「枝豆収穫祭」には国内外から多数のご来場があり、報道等を通じて内外に町の魅力を発信することができました。

地方創生・人口対策は町政の最重要課題であります。足元の人口動態を見ますと、昨年4月から今年1月までの転入数は673名で、前年同時期と比べ約150名の増となっており、これまでのさまざまな取組みの成果がでたものと、大変喜ばしく思っております。今後の動向を注視しつつ、引き続き若い世代の流入促進に努めて参ります。

このほか、施設面では、菊池小学校北校舎や大堰学童保育所の改修がすでに完了、大刀洗小学校運動場の芝生化も6月には完了予定となるなど、予定しておりました諸事業も順調に進捗しております。また、リニューアル後の町立図書館は利用者が大幅に増えており、併設するカフェコーナーも好評で利用者も多いようであります。

次に、平成29年度の一般会計予算につきましては、総額61億9,000万円で、前年度当初と比較して1億4,500万円、率にして2.4%の増となっております。予算編成にあたりましては、第4次総合計画及び大刀洗よかマチ創生プロジェクトの各事業をさらに推進していく

ために必要な予算を盛り込んだものとしております。

まず、歳入であります。税収については個人町民税、固定資産税の増により町税全体で2.3%増の14億1,400万円を見込んでいます。

また、ふるさと応援寄付金は、今年度当初の3,000万円を大幅に増額した1億円を見込んでおります。一方、地方交付税は、来年度の地方財政計画を考慮し、前年比3,200万円減の17億9,800万円を見込んでおります。

次に歳出であります。義務的経費のうち、扶助費は前年比1.6%の減、公債費は、庁舎の耐震化などの大型事業の返済開始により、0.9%の増となっております。また、普通建設事業は、定住促進住宅の建設、大堰小学校特別教室の改修により約22.8%の増となっております。

それでは、平成29年度に取り組む主な事業につきまして、各課ごとにご説明いたしますので、よろしく願いいたします。

まずは、**総務課**でございます。

財政においては、町税や地方交付税等の収入を正確に見込み、健全財政を堅持するとともに、今年度策定した公共施設等総合管理計画

に基づき、将来負担となる施設改修を見据えた財政運営を講じてまいります。また、今年も住民協議会を開催して住民と行政の協働によるまちづくりを進めてまいります。

次に**地域振興課**でございます。

地方創生関連では、昨年 12 月に総合戦略審議会を開催し、「よかまち創生プロジェクト」の進捗状況と、今後の取り組みについての協議を行いました。そこで新たに、「空き家の利活用」他 4 本の事業を実施することとしましたので、来年度は、すでに開始した事業とあわせ、推進して参りたいと考えております。

また、定住促進住宅については、昨年、複数の校区から建設要望をいただいたことも踏まえ、現在大刀洗校区内での建設協議を進めており、平成 29 年度中の完成を目指しております。

海外事業については、シンガポールから香港へ販路の開拓先を変更し、各種団体や企業と連携することで「大刀洗産品」のブランド化を推進して参ります。

消防防災については、地震や風水害など自然災害に対する住民の防災意識の向上と自主防災組織強化の支援を行ってまいります。役

場職員で組織した本部分団も3年が経過し、校区分団とともに5分団で実践的な活動を行っております。今年是小郡大刀洗地域防災訓練が大刀洗で開催されますので、消防団はもとより自主防災会や各種団体など多数の方々に参加いただき更に防災意識を高めてまいりたいと考えております。

また、大刀洗斎場ふるさとについては、開設して4年になりますが、本年度も指定管理者である「株式会社たちあらい」から500万円以上の寄付が見込まれるなど、安定した運営がなされております。

次に、**税務課**でございます。

来年度は平成30年の固定資産評価替えに向けた準備の年であります。引き続き、町税の適正課税に努めるとともに、コンビニ納付や口座振替の推進に努め、納税者の利便性と自主納付の促進を図ってまいります。また、滞納者に対する徴収業務を強化し、安定税収の確保に努めます。

次に、**住民課**でございます。

住民サービスの向上を図るため、更に職員研修を重ね、窓口サービ

スに重要な知識や接遇の向上に努めてまいります。また、マイナンバーカードの交付やそれに伴う異動手続きの適正かつ円滑な事務処理に努めます。

次に、住民生活に身近なゴミ処理については、燃えるゴミに混入している資源ごみの分別を徹底し、有効にリサイクルしていくため、今年4月より、資源ごみ袋の料金の値下げや、2種類のごみ袋の統合を実施します。また、子育て世帯等の負担軽減のため、燃えるごみ袋より料金を下げた紙おむつ専用ごみ袋を新たに設け、分別収集を開始いたします。

次に**健康福祉課**でございます。

まず、介護予防事業でございますが、団塊の世代が75歳を迎える2025年に向けて介護保険制度の改正が行われたことから、地域包括ケアシステム構築に向けての取り組みを進めてまいります。また、生活支援体制整備事業の推進や認知症施策の充実、新しい総合事業への移行等に向けて更に取り組みを推進してまいります。また、健康体操教室については、介護予防教室や校区センターでの健康教室に加え、分館での体操教室をさらに充実させることで、健康寿命の延伸に

つながることを期待しています。

次に障害者総合支援事業でございますが、今年度は障害者福祉計画を見直し平成 32 年度までの計画を策定します。また、障害者自立支援協議会を活用し、福祉サービスと地域生活支援、相談支援体制の充実を図るとともに、引き続き障害者への理解や啓発に取り組みます。

次に国民健康保険については、平成 30 年度から県が国保財政運営の責任主体となることから、国保事業のあり方の協議を進めてまいります。また、後期高齢者医療については、過度に医療費が増大しないよう広域連合と連携して、医療費適正化に取り組みます。

特定検診や保健指導については、電話や訪問による受診勧奨を実施した結果、平成 27 年度の受診率は 49.6%で県下 2 位の高受診率となりました。今後も継続してきめ細やかな受診勧奨と保健指導を実施してまいります。

また、国保データベースシステムを活用し、効果的な保健指導を行います。今年度は、早期の健康管理を目的に、40 歳から 5 歳ごとに 55 歳までの国民健康保険の方を対象に、人間ドックを実施してまいります。

母子保健については、子育てコーディネーターを中心に産後ケア等を充実し、妊娠期から切れ目のない支援策を実施してまいります。

次に**産業課**でございます。

昨年のT P Pの大筋合意から一転し、アメリカの離脱発言により今後の農業政策への影響が懸念されますが、本町といたしましては、国の政策、制度を有効に活用し、強い農業の実現に努めてまいります。

また、「農地中間管理機構」による利用権の設定や農地の集約を行い遊休農地の解消に努めるとともに、引き続き農村基盤整備を行い、集落営農組織の法人化と土地利用型農業及び施設園芸等の経営確立を支援していきます。更には今年から北部地区のほ場整備が本格的に開始しますが、完了は5年後を見込んでいるところであります。

商工関係では、引き続き地域経済の活性化に努めるとともに、住民の消費生活に関する被害防止のための消費者教育や啓発活動、相談体制の強化を図ってまいります。

次に**建設課**でございます。

町道の維持管理については、区長要望や道路パトロールにより修

理が必要な道路や側溝の修理を行います。また、道路改良については、前年度からの継続路線 5 路線、新規路線 1 路線の道路改良を予定しており、国庫補助事業としては、引き続き社会資本総合整備事業として舗装補修工事、橋梁補修工事を実施する予定であります。

次に子ども課でございます。

学校教育係では、子ども達に自立して社会を生き抜くことができる「確かな学力」「豊かな心」「すこやかな体」の調和のとれた教育、すなわち「生きる力」を育む教育の推進に努めてまいります。

一つ目は 4 小学校にコミュニティ・スクールを導入し、家庭や地域との連携・協働体制の構築を図ります。

二つ目は学んだ知識や技術を確実に定着させる学習課程の工夫や家庭学習の進め方の指導、個に応じた指導など確かな学力を育むための「教えて考えさせる授業」の推進に努めます。

三つ目は、教育環境の整備として、大堰小学校特別教室等の改修工事や、平成 30 年度に予定している大刀洗小学校北校舎等大規模改修工事の実施設計を予定しています。

四つ目は、特別支援教育の充実を図るために就学前の幼児を対象

に「ことばの教室」の開催や小中学校に特別支援教育支援員を配置するほか巡回相談、保育園・小学校・中学校の連携強化、通級指導教室の充実に取り組んでまいります。

次に、子育て支援係では、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを基本に事業を進めてまいります。

一つ目は、新しく病後児保育センターを建設し、既存の病後児保育センターを本郷保育園に保育室として貸し出すことで、待機児童の解消に取り組めます。

二つ目は、本郷学童保育所の入所児童数が増加したため、本郷小学校敷地内に学童保育所を増設いたします。

三つ目は、子ども達が安全で安心して遊べるように、行政区が管理する遊具修繕費の一部補助を行います。

「大刀洗町は子育てしやすい町」「大刀洗町で子育てできて良かった」と思っただけのよう「チルドレン・ファースト」を合言葉に子育て支援・教育支援の充実を進めてまいります。

次に生涯学習課でございます。

生涯学習係では、町民が生涯にわたり人間性豊かな生活を送れる

ように生涯学習施設の充実と人材育成とその活用を図って「生涯学習のまちづくり」を進めてまいります。

人権教育については、町民一人ひとりが人権を尊重しあえる社会の実現に向けて、人権学習や平和学習の開催と啓発に取り組んでまいります。また、アンビシャス広場やチャレンジ教室、通学合宿など青少年育成の支援等を行い、社会教育においては、町民が自己の能力を高めるための各種講座や学級の充実を図ります。昨年リニューアルオープンした町立図書館は利用者も多く、生涯の学びの場や町の情報発信の拠点となるよう更に施設運営の充実を図ってまいります。

文化財では国重要文化財の今村天主堂について、今後の保存管理計画策定に向けて関係機関と協議を行い、町が誇る文化財として後世に伝えられるよう努めてまいります。

さて、今議会に提案しております平成 28 年度一般会計補正予算については、諸事業の確定による不用額の減額補正と国保会計への繰出し金 2,000 万円、ふるさと応援寄付金の追加補正 2,000 万円等を計上いたしております。

そのほかにも、本議会で審議していただきます主な議案は、

- 人事案件が 5 件
- 条例関係が 6 件
- 町道路線認定が 1 件
- 平成 28 年度一般会計補正予算（案）などの補正予算議案 5 件
- 平成 29 年度一般会計予算（案）などの予算議案 5 件

であります。

議員各位におかれましては、慎重に御審議いただき、最後にはご承諾賜わりますようお願い申し上げます、ご挨拶といたします。

どうぞよろしくようお願い申し上げます。